

平成30年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表（回答用）

項目	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
かえで保育園について	今後の方針として、かえで保育園はどうなるのか。	（各議員の主な回答内容） ・方針はまとまっていない。地元は残して欲しいと言っている。 ・市民の皆さんと、徹底的に議論すべきと考える。 ・例えば、はなのき保育園は、募集しても定員まで集まらない。大町市は保育園をたくさん作ってしまった。保護者も車で子どもを送迎するため、近くに保育園がなくても困らない。かえで保育園も、保護者の希望で他の園に移っていった状況である。しっかり承り、行政に伝える。	平	かえで保育園は、昭和51年の建設後40年以上が経過し、施設の老朽化や耐震性能に課題がありましたことから、施設のあり方について検討を進めております。検討を進めるうえでは、利便性や地域性・効率的な施設運営、公共施設等総合管理計画の基本方針に掲げる園児の安全確保や、市の全体的な保育ニーズ等を踏まえたうえで、引き続き慎重に検討いたします。	子育て支援課
エコパークについて	エコパークの取り付け道路の使い勝手が悪い。エコパークに入っていく車と出ていく車がぶつからないよう、交通整理のために一人立っていなければいけない。	しっかり承り、行政に伝える。	平	北アルプスエコパークは、北アルプス広域連合で管理、運営を行っており、ご意見を北アルプス広域連合に伝えます。	生活環境課
北アルプス国際芸術祭について	前回の芸術祭では、作品の展示場所が偏っていた。大町市の最北に住む人たちにとっては「木崎湖までしか作品がなかった」と言うし、最南に住む人にとっては「仏崎だけだ」と言う。次回はぜひ市内全域で偏りなく作品を展示できないか。	（各議員の主な回答内容） ・大町全域だと、余計に予算がかかってしまう。 ・次回も大町市を5つのエリアに分けることは変わらない。 ・まずは、第一回目の芸術祭の総括をやるべきだ。そして市民のアンケートもやるべき。群馬県中之条町で開催している芸術祭は、大町の芸術祭よりも予算が少ない上に、参加者が大町よりもはるかに多い。やり方次第である。市民的な議論が大事だ。 ・しっかり承り、行政に伝える。	平	作品の設置場所については、総合ディレクターやアーティストにより、自身がどの場所で、どの様な作品を制作するかを決定することとなります。前回の芸術祭では作品がない地域があったことから、5つのエリアごとの区域を広げており、できるだけ市内全域に作品設置していただけるよう総合ディレクターに依頼しております。 また、展示エリアを市内全域を網羅する形で、作家に対して市街地・東山・仁科三湖・源流・ダムに5つに分け設定し、地域等から提案のあった作品設置場所の候補地を情報提供しております。	まちづくり交流課

平成30年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表（回答用）

項目	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
	八坂地区は充実感があつたようだが、美麻地区は感じられなかった。手伝いたいのが何を手伝えればよいのか、その内容を情報発信してほしい。	行政に伝える。	美麻	<p>前回の芸術祭では、八坂地区において「八坂地域づくり協議会」が地域の総意として率先的に作品制作や振る舞いなどのおもてなしを担っていただき、芸術祭を盛り上げていただきました。</p> <p>美麻地区においても作品設置の際には説明会を開催し、ご理解をいただくとともに、ご協力いただきたい内容についてもご説明いたしますが、ぜひ、作品制作の補助や来訪者へのおもてなしなど、芸術祭を契機とした地域ごとの取組みについて検討いただき、ご協力いただければと思います。</p> <p>また、市の広報やホームページを通じて多くの方々にご協力いただけるよう情報発信に努めます。</p>	まちづくり交流課
北アルプス国際芸術祭について	北アルプス国際芸術祭は、成功であったが地元作家にも積極的に参加できるようにしてほしい。	徳島県神山町では、住民が作品募集も行っており成果も上げている。行政に伝える。	大町	<p>前回の芸術祭では、5作品について地元作家から参加をいただき、大変好評でした。</p> <p>「国際芸術祭」と銘打っているため、一定程度以上のクオリティを有する水準が求められますが、次回に向けましても前回同様に地元作家の登用も当然考えられます。</p> <p>また、公募による参加も可能ですので、多くの地元作家の方にご応募いただけるよう周知を図ります。</p>	まちづくり交流課
	芸術祭に従事した市の職員の対応が悪かった。職員の意識改革をすべきである。	行政に伝える。	大町	<p>職員には、芸術祭のスタッフとして、おもてなしの心を持って対応するよう周知していましたが、一部の職員の対応に問題があったとすれば、非常に残念に思います。</p> <p>次回に向け、職員に徹底いたします。</p>	まちづくり交流課

平成30年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表（回答用）

項目	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
道路等の補修について	道路上のマンホール周辺部に陥没箇所があったため、建設課に連絡したところ、建設課と上下水道課をたらい回しにされた。受付窓口を一本化できないか。	行政に伝える。	八坂	市道内に設置されたマンホールなどの構造物等の管理は、その管理者が行うこととなるため、連絡を受けた担当者は、マンホール周辺の舗装陥没の原因は、下水道敷設工事当時の埋め戻し時の転圧不足と推測し、いただいた連絡を上下水道課へ転送してしまったものと思われます。今後は、寄せられた情報はきちんと内容を把握し、現場を確認した後に内部調整して対応することといたします。	建設課 上下水道課
水道事業について	市全体の水道管の更新は大丈夫なのか。	毎年更新している。しっかり更新するよう行政に伝える。	美麻	市が管理している水道管の総延長は約480kmにおよびます。水道水の安定供給のため、老朽管の更新や耐震対策は重要な事業としており、基幹水道管など重要性の高い管路施設から、計画的な更新事業を進めております。	上下水道課
市の助成金について	敬老会の助成金が減らされたので増やしてほしい。	行政に伝える。	美麻	旧大町地区の敬老会補助金は、対象者一人当たり900円となっております。 美麻・八坂との合併以降、両地域の敬老会事業に対しては、合併以前の敬老会事業への支出状況や対象者数等を鑑み、定額補助を行ってきておりますが、合併後10年を経過したことを契機として、旧大町市内の地区との不均衡を是正すべく平成27年度以降、地域の急激な負担増とならないよう、段階的に補助金額を減額してきております。これにより当初、60万円（一人当たり助成額：美麻・2307円、八坂・3191円）であったものを、5年間で27万円減額し、補助額を33万円（一人当たり助成額：美麻・約1600円、八坂・約1800円）としてきております。 引き続き、市内同一基準額とするため、両地区敬老会の財源を含む実施内容について、両支所を通じ調整いたします。	福祉課

平成30年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表（回答用）

項目	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
<p>行事・自治会について</p>	<p>先日、常盤公民館で男女共同参画の行事が行われたが、内容は防災に関するものだった。内容をもっとしっかり考えて、主旨に合ったものにしてほしい。</p> <p>もう一つは、自治会には多くの役職があるが、なり手がいない。また、市から委託を受けた、小地域福祉ネットワークや健康推進員というものがあるが、現場では何をやっていいか困っている。その上、似たような役職がある。福祉課で作った地域支えあいフォーラムというのがあるが、小地域福祉ネットワークと内容が重複している。福祉ネットワークは社協、地域支えあいフォーラムは福祉課ということであるが、しっかり整理してほしい。</p> <p>また、色々な委員を地域から出してほしいというが、地域任せになっていないか。人手不足で大変である。</p>	<p>しっかり承り、行政に伝える。</p>	<p>常盤</p>	<p>男女共同参画学習会は、各地区ごとに実行委員会で内容を決め実施しております。</p> <p>常盤地区の学習会での防災に関する研修は、災害時においては特に男女共同参画の視点での対策、対応の取り組みが重要となることから、実行委員会において検討され学習内容に取り入れて実施されました。なお、他地区におきましても同様に、男女共同参画の観点で開催されております。</p> <p>市が依頼している各種委員については、地域の声を届けていただくため、また、地域へ情報を届けていただくためにお願いしていますが、連合自治会においても自治会役員の負担軽減についてご意見をいただいておりますことから、負担軽減のため市民サポートセンターでサポートしてまいります。</p> <p>小地域福祉ネットワークは、高齢社会を支えるため、地域に住む高齢者同士や、世代を超えた住民間の交流の場として、自治会単位で住民の皆様が主体となって運営されている地域活動であり、市社会福祉協議会が活動を支援しております。</p> <p>また、これとは別に、平成29年に国は地域で住民が相互に助け合うシステムづくりと、住民を支える新たな事業について協議を行うための『地域支え合い体制づくり協議会』を市町村に設置することとし、当市では地域包括支援センターがこの事業を進めております。この『地域支え合い体制づくり協議会』が開催した会議の名称が、「地域支え合いフォーラム」で、どちらも目的は重なる部分がありますことから、相互に連携を図り住民の皆さんに分かりやすく事業を進めます。</p>	<p>まちづくり交流課</p>

平成30年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表（回答用）

項目	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
行事・自治会について	常盤仏崎の天然記念物である「めおと松」が松食い虫にやられてしまった。もっと早く手を打てば助かったと思う。大町南小の松林も何本も枯れてきて心配である。河川敷の松も枯れてきている。しっかり予算を組んで取り組んでほしい。	しっかり承り、行政に伝える。	常盤	<p>【生涯学習課】 大町市の天然記念物である「めおと松」は、所有者の要望を受け平成25年度から、市から補助金を交付して枯れるのを防ぐため、樹木医とも相談して保護対策を支援してきましたが、残念ながら枯死してしまいました。他の天然記念物につきましても、必要に応じ補助金の交付等を通じ、文化財の保護対策を実施します。</p> <p>【農林水産課】 松くい虫の被害は、市内の広範囲にわたり確認されておりますことから、毎年、被害拡大を防ぐため、国及び県の補助金を活用しながら伐倒処理を進めておりますが、さらに被害が拡大しないよう国及び県に要望しながら予算確保に努めます。また、河川敷の被害木につきましては、引き続き、伐倒処理を大町建設事務所に要望いたします。</p>	生涯学習課 農林水産課
	八坂定住促進住宅の入居者は自治会に加入する義務があるが、館ノ内市営住宅は任意加入だ。その違いは何か。	自治会加入について、行政に伝える。	社	定住促進住宅は、過疎地域への定住の促進及び地域の活性化を図ることを目的として整備しており、入居者の要件として「長期にわたり居住する意思があり、自治会等の地域活動に積極的に参加できること。」と条例に定められています。	八坂支所 建設課
定住促進について	定住促進住宅の建設や空家対策の充実をお願いしたい。	特定地域への建設ではなく、市内全体のバランスも考慮する必要があります。行政に伝える。	八坂	<p>定住促進住宅は、令和2年度に八坂地区に2棟、令和3年度に美麻地区に3棟の建設を予定しており、今後も状況に応じて建設を検討いたします。</p> <p>空き家対策は、自治会の協力をいただきながら、市内の空き家の件数等の把握を進めております。</p> <p>このうち、利活用が可能な空き家は、所有者への意向調査や相談などを実施し、希望により空き家バンクへの登録を行うなど、空き資源を有効活用しながら移住・定住に繋げてまいります。</p>	まちづくり 交流課

平成30年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表（回答用）

項目	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
	バスに乗ったときに、免許返納証を見せれば割引や無料になるようにしたらどうか。	行政に伝える。	社	現在、65歳以上の方が運転免許を自主返納した際には、申請により市民バスの乗車券48回分を交付しています。（市民課） 免許返納者に限らず、高齢者など交通弱者の移動手段確保の重要性は、今後ますます高まることから、デマンド交通や福祉タクシーなど地域の実情に応じた運行形態や料金体系を検討し、持続可能な地域公共交通の維持、改善による市民の移動手段の確保に努めてまいります。	情報交通課
公共交通・交通弱者対策について	中山間地域では、高齢者がバス停や公民館などへの移動手段に加え、高齢者の孤立を防止するためにもシニアカーは重要である。是非、議会としても課題を解決していただきたい。	行政に伝える。	八坂	介護保険制度では、「介護度2」以上の認定者であれば、福祉用具レンタルにより、1割負担で利用が可能となりますが、それ以外の方がシニアカーを購入又はレンタルする費用についての助成は現在ありません。シニアカーは、道路交通法では、歩行者として扱われ、運転免許は必要ありませんが、シニアカーでの転落や転倒事故が多く発生しており、安全性には、十分な配慮が必要となります。また、中山間地域などの傾斜の急な道路の走行には適していないこともあり、シニアカー購入等への助成については、今後慎重に検討します。	福祉課

平成30年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表（回答用）

項目	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
災害時のライフラインの確保について	<p>例えば、社地区などは災害で水道管をやられたら、常盤地区や池田町などから水を回すことができない。また災害時に水道管をやられたら一番困るのはトイレである。</p> <p>災害時のライフラインの確保をしっかりとやってほしい。</p>	<p>しっかり承り、行政に伝える。</p>	常盤	<p>【消防防災課】 災害などによる断水時の飲料水の確保については、給水車の出動及びペットボトル飲料を避難施設へ配送いたします。</p> <p>トイレ等に使用する雑用水は、緊急の場合には学校プール等の貯水や自然水利で補うこととし、施設のトイレが使用できない場合は、備蓄している簡易トイレ及び目隠しテント等を配送し、所定の場所に設置して使用していただきます。</p> <p>その他にも、発電機、大容量蓄電池、カセットコンロ、木炭等を備蓄していますが、家庭でも日頃から水の確保に関心を持ち、風呂水の溜め置きや保存飲料水の備蓄を実践してください。</p> <p>【上下水道課】 上下水道施設は市民生活に必要な不可欠なライフラインであるとともに、災害時などにおける施設の機能維持の確保や減災対策が重要であります。水道施設や下水道施設の耐震化対策や長寿命化対策等の減災対策について、計画的な事業推進を図っております。</p>	消防防災課 上下水道課
子どもの遊び場の確保について	<p>「大町市次世代育成支援対策行動計画」が策定されており、その計画に「子どもの居場所・遊び場の確保を進める」と記載されている。しかし、大町市には、未就学の子どもたちが遊ぶ場所がない。松川村や池田町など近隣の町村には遊び場があり、お母さんたちの交流の場にもなっている。大町市でも、地域の公民館を無料で開放することもできるのではないかと。松本大学の根本教授が講演の中で、小学校入学前にどれだけ運動をしたかにより、運動能力や将来運動が好きになるかどうかが決まるとの話があった。ぜひ子どもたちの遊び場の確保をお願いしたい。</p>	<p>非常に重要なことと考えている。行政に伝える。</p>	常盤	<p>【子育て支援課】 次世代育成支援対策行動計画（子ども・子育て支援事業計画）では、子どもの居場所・遊び場の確保を進めるため、既存施設を有効に活用しながら計画的に進めることとしていますが、地区によって整備状況が異なる状況にあります。今後は、地域の要望を伺いながら、関係各課が連携し子どもの居場所づくりを進めてまいります。</p> <p>【生涯学習課】 市内6地区の公民館では、おやつ代や教材費など一部有料となる場合がありますが、未就園児を対象とした親子教室を開催し、リズム体操や運動あそびなどを通じた親子のスキンシップと仲間づくりを支援しており、本年5月号の「広報おおまち」で参加者を募集し</p>	子育て支援課 生涯学習課 体育課

平成30年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表（回答用）

項目	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
子どもの遊び場の確保について			常盤	<p>ております。また、図書館においても、子どもや親子を対象とした読み聞かせや、お話し等を毎月開催していますのでご利用ください。なお、遊び場として、文化公園、西公園、青島公園や社公園などを整備しておりますが、引き続き安心・安全な子どもの居場所、遊び場の確保に努めます。</p> <p>【体育課】 体育課では、幼児期に必要な運動感覚や運動習慣を身につけてもらうため、柳澤運動プログラムを取り入れた運動遊び教室を実施しています。この教室は、年長児を対象に20年以上前から実施していますが、平成29年度からは、保育園、幼稚園に出向き、年中児等を対象とした「巡回運動あそび教室」も実施しております。各園3～4回ではありますが、年中児全員を対象とすることができ、また、各園の保育士等に運動あそびの指導方法を周知し、保育の中に運動あそびを取り入れてもらうことで、より多くの子どもたちが運動習慣を身につけ、体力の向上を図ることができるものと考えています。</p>	子育て支援課 生涯学習課 体育課
学校の統廃合について	<p>市内の小学校それぞれが、特色ある教育を行っており、できることなら統合は避けてほしい。街の中心地にある学校よりも、郊外の方が、環境がいい場合もある。単級になることは問題との意見や、統合して人数が多くなれば競争心が付くとの意見があるが、少人数の方が一人一人の子どもに目が行きやすい。人と競うよりも、自分で自分を高めて行こうというのが小学生だと思ふ。</p> <p>また、学校のあり方を議論する場合も、有識者だけでなく、地域住民の意見も聞く機会を設けてほしい。</p>	行政に伝える。	常盤	<p>少子化が進む中、市でも小中学校の児童生徒数は年々減少しており、平成19年度から平成30年度までの10年間で約千人減少し、令和5年度には1,500人程度になると見込まれます。</p> <p>この様な状況の中、各校の学校運営協議会（委員会）、各地区連合自治会、公募委員、PTAや学校の代表の方々等20人の委員に参画いただき、義務教育の指導方法や運営体制とともに学校再編も含め、総合的な検討・協議を行う「義務教育のあり方検討会」を平成30年度に設置しました。今後、市民アンケートや保護者アンケートを行い、地域の方々の意見をお聞きしながら、その結果を基にさらに検討会で議論を深め、本年度内に今後の方針を策定する予定としています。</p>	学校教育課

平成30年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表（回答用）

項目	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
コミュニティ・スクールについて	先生の働き方改革や地域の学校を守っていくために、美麻地区や八坂地区のように、地域と学校が一緒になってコミュニティ・スクールを盛り上げてほしい。	市民の皆さんに、コミュニティ・スクールの意味がしっかりと伝わっていないような気がする。行政に伝える。	平	<p>少子化の進展による児童生徒数の減少とともに、社会情勢の大きな変化の中、学校が抱える教育課題は複雑化・困難化するとともに、学校に求められる役割は拡大・多様化し、学校だけでは解決できない課題も増えております。</p> <p>このように学校現場を取り巻く環境が変化する中、教職員の職務は多岐にわたり、その時間的、精神的負担が増大し、全国的な課題として、教職員の多忙化改善が求められております。このため、教職員が必ずしも担わなくてもよい業務も多々あることから、業務の分業化、協業化、効率化を進め、地域の方々に学校運営に参画していただく仕組みであるコミュニティ・スクールを大いに活用し、地域と学校、保護者が連携・協働していくことが必要であると考えています。</p> <p>また、コミュニティ・スクールのさらなる推進を図るため、市民の皆様に一層参画いただけるよう周知・広報に努めます。</p>	学校教育課

平成30年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表（回答用）

項目	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
コミュニティ・スクールについて	子どもたちが減ると先生も減る。少ない先生で学校を運営していくのは負担になると思うが、どのように考えているか。	<p>（各議員の主な回答内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本来は国が責任を持って、教育のための予算を増やしていくべきだ。 ・コミュニティ・スクールには、「小中一貫型（国の進めているもの）」と長野県独自の「信州型」の2種類がある。八坂や美麻は小中一貫型で、学校運営協議会が存在し、人事権などまで介入できる。旧大町市の4小学校については信州型を導入している（学校運営協議会がない）。今は地域の大人の手を借りないと学校運営ができない。しかし、このコミュニティ・スクールの意味について、まだまだ市民の皆さんに理解してもらえてない。しっかり承り、行政に伝える。 	平	<p>少子化の進展による児童生徒数の減少とともに、社会情勢は大きく変化し、学校が抱える教育課題は複雑化・困難化するとともに、学校に求められる役割は拡大・多様化し、学校だけでは解決できない課題も増えております。このように学校現場を取り巻く環境が変化する中、教職員の職務は多岐にわたり、その時間的、精神的負担が増大し、全国的な課題として、教職員の多忙化改善が求められております。</p> <p>このため、教職員が必ずしも担わなくてもよい業務も多々あることから、業務の分業化、協業化、効率化を進め、地域の方々に学校運営に参画していただく仕組みである「コミュニティ・スクール」を大いに活用し、地域と学校、保護者が連携・協働していくことが必要であると考えています。「コミュニティ・スクール」のさらなる推進を図るため、市民の皆さんに一層参画いただけるよう周知・広報に努めます。</p>	学校教育課

平成30年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表（回答用）

項目	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
有害鳥獣対策について	有害鳥獣駆除費の助成増額について検討されているのか。	猟友会に対する助成金は、増額されている。具体的な検討内容等について開示するよう、行政に伝える。	八坂	有害鳥獣駆除については、出動や捕獲などの業務ごとに単価を設定し、実績に応じて大北地区猟友会の各支部に委託料をお支払いしています。委託方法等については、先進地視察や猟友会の皆様とも意見交換する中で、より良い方法を検討いたします。	農林水産課
	サルの被害に困っている。電気柵の助成金の申請をしようとしたが、すでに予算が終わり申請できなかった。予算を増やしてほしい。	行政に伝える。	美麻	ほ場への電気柵の設置については、市の単独事業として助成しております。昨年度は、要望が多く補正予算で対応いたしましたが、年度により要望数に増減があるため、十分に対応できない状況もありますことから、農業者から要望をお聞きする中で、柔軟に対応いたします。	農林水産課
	サル害対策として、駆除したサル1頭当たりいくらとして、猟友会への報酬をじゅうぶん出してほしい。また、同じことをやっても効果がなくなるので、新しい対策を研究してほしい。	研究機関や先進事例を研究して有効な対策をたて、予算確保については行政に伝える。	社	サル害対策については、国庫補助による電気柵の設置のほか、個別のほ場への電気柵の設置には、市の単独事業により助成するとともに、モンキードッグによる追い払いや、猟友会の協力による駆除等を実施していますが、依然として、被害や出没の報告が寄せられている状況です。 猟友会へ依頼している有害鳥獣駆除については、業務ごとに単価を設定し、実績に応じて委託料をお支払いしております。また、本年度には、大町市有害鳥獣被害防止対策協議会を中心に先進地視察を予定しており、猟友会への委託方法や効果的な駆除の方法などについて、検討します。	農林水産課

平成30年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表（回答用）

項目	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
大町病院について	<p>ふるさと納税を大町病院の赤字補填に使うことはできないのか。職員の給料を下げなくてもよかったのではないか。</p>	<p>（各議員の主な回答内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税の用途として「市長にお任せ」という項目がある。 ・単に職員の給料をカットするというだけでは根本的な解決にはならない。持続可能な病院経営のための計画をしっかりと作るべきと考える。 ・医師が病院から離れてしまうことを心配している。今でさえ医師が足りていない。 ・現在、大町市議会の病院対策委員会で議論が始まったところで、もう少し議会の対応を見守ってほしい。大町病院は、市民の大事な病院である。今まで以上に真剣に取り組んでいく。また意見がまとまり次第、しっかりと提言していく。 	常盤	<p>【企画財政課】</p> <p>「ふるさと納税制度」は、生まれ育った故郷や関心のある地域に対し、居住地以外の自治体を応援したいという気持ちを寄附によって実現できる制度として平成20年度に創設され、本市にもこれまでに多くの寄附をいただいております。ふるさと納税の用途については、「協働のまちづくり推進のため」、「自然環境を守るため」など11項目のメニューを設定し、寄附者に選択いただきましたが、本年5月から新たに「市立大町総合病院の支援のため」を追加し、市外にお住まいの方から温かいご支援をお受けできるよう準備を進めています。なお、市民の方で、大町病院の支援のため寄附を希望される場合は、直接市または病院でお受けしており、この場合はふるさと納税のように返礼品を差し上げることはできないものの、所得税における所得控除を受けることができます。</p> <p>【大町病院】</p> <p>平成29年度決算において資金不足比率が経営健全化基準を超えたことから、外部監査を経て経営健全化計画を策定しました。</p> <p>外部監査の意見では、赤字の主な要因は人件費の増加であり、その対策が急務であるとの指摘を受け、計画に人件費の適正化とともに緊急的措置として職員給与の削減を盛り込みました。職員労働組合と真摯に交渉を重ね合意を得たうえでの措置ではありますが、可能な限り早期の健全化が図られるよう継続的に取り組みます。また、患者数や収益の増加の取り組みについても経営健全化計画に基づき着実に実行します。</p>	企画財政課 大町病院

平成30年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表（回答用）

項目	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
大町病院について	人件費を削減すれば医師や看護師が確保できなくなる。人件費削減ではなく、まずは、大町病院の患者数を増加させる努力が必要である。 一般会計の繰り入れに頼ることのないよう病院独自の経営が成り立つよう、市民に対して市長や議会も病院利用の働きかけをすべきである。	本年度、半ばから入院・外来単価が上昇しており、さらに改善計画を精査し、平成32年度以降改善傾向に向かうとしている。議会も不退転の決意をもって対応する。 行政にも伝える。	大町	平成29年度決算において資金不足比率が経営健全化基準を超えたことから、外部監査を経て経営健全化計画を策定しました。 外部監査の意見では、赤字の主な要因は人件費の増加であり、その対策が急務であるとの指摘を受け、計画に人件費の適正化とともに緊急的措置として職員給与の削減を盛り込みました。職員労働組合と真摯に交渉を重ね合意を得たうえでの措置ではありますが、可能な限り早期の健全化が図られるよう継続的に取り組めます。また、患者数や収益の増加の取組みについても経営健全化計画に基づき着実に実行します。	大町病院
	事業管理者と院長の職務を分離できないか。	事業管理者については、院長との併任ではなく、病院経営の専門知識を有している者の登用が必要だと考えている。 行政に伝える。	大町	病院経営の専門家を事業管理者として招聘し、院長の職務と分けることにより役割分担と各々の職務に専念するという考え方もありますが、現段階では、事業管理者としての経験を有し大町病院を熟知している現事業管理者兼院長を中心に、全職員が病院経営の健全化と地域医療への貢献に全力で取り組めます。	大町病院
	11月9日に開催された大町病院の「地域懇談会」に出席したが、事業管理者の説明がよくわからなかった。プロジェクターの映像もよく見えなかった。	もっとわかりやすい懇談会になるよう、行政に伝える。	常盤	地域懇談会は、地域の皆様の生の声を聞く貴重な機会であると認識しておりますことから、今後も継続的に計画し、開催に当たっては、分かりやすく丁寧な説明を心掛けます。	大町病院
	経営難の原因は、会計が遅すぎるのも一因では。1時間もかかるところなんかない。あづみ病院は5分で会計が終わる。	行政に伝える。	常盤	昨年実施した会計の待ち時間調査では、待ち時間の平均は4分程度であり、10分までにほぼ全ての会計が終了するとの調査結果が得られております。 しかしながら、ごく稀に医師等に確認を行わないと会計が出せないなど、患者さんにご迷惑をかける場合がありますことから、今後も可能な限りお待たせすることがないように、引き続き心掛けます。	大町病院

平成30年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表（回答用）

項目	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
仁科三湖周辺整備について	遊歩道ができたが、草がぼうぼう生えている。諏訪湖はしっかり手入れがされ、自転車道、歩道も整備されている。今後も仁科三湖の周辺整備事業の継続を望む。	<p>（各議員の主な回答内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁科三湖周辺の整備については、計画はあるものの、一向に進んでいないと感じている。 ・市として仁科三湖の整備をどうしたいのかなどの、素晴らしい観光資源を生かすための明確なビジョンが必要である。企画財政課が責任を持って進めるべきだ。そして議員も提言していくべきと考えている。 ・しっかり承り、行政に伝える。 	平	<p>【企画財政課】</p> <p>仁科三湖整備計画に係る事業の執行状況や、事業費の積算を含め、計画に対する検証を実施した結果、今後は仁科三湖全体の整備ではなく、それぞれの湖が持つ特色を生かし、地元の要望に沿った整備を進めていくことが重要との考え方にまとまりました。現在、建設課で進める木崎湖周遊ルート整備（市道東西海ノ口線拡幅工事（～H32））の完了をもって当計画に基づく整備は完結とし、今後は観光動向や将来展望を踏まえ、第5次総合計画前期基本計画に位置付けた「観光資源の有効活用と魅力向上」に基づき整備を進めるとともに、観光振興計画へ位置付け関係課が連携し、必要な事業を進めます。</p> <p>【建設課】</p> <p>建設課では、現在、自治会からの陳情要望を踏まえ、この計画における木崎湖畔周遊道路の一部で市道拡幅改良を進めていますが、整備後の周遊道路（観光的要素を踏まえた）としての用途や、ルール等について、地元関係者を踏まえた調整が必要であると考えております。</p>	企画財政課 建設課